



作成日：2005年2月24日

改定日：2010年4月5日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名：**SPECTRAFLAIR® PIGMENT**
スペクトラフレアー顔料

会社名：**JDS Unipase Corporation**

住所：1402 Mariner Way, Santa Rosa, CA 95407-7307, USA

電話番号：01-(707) 525-7906

緊急連絡先（輸入元）：**CBC 株式会社**
エレクトロニクスデバイス&マテリアルズ ディビジョン
東京 E.D.M. Department 山口 頼正
〒104-0052 東京都中央区月島 2-15-13
電話番号：03-3536-4555
FAX 番号：03-3536-4772

2. 危険性有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性：眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：区分2
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）：区分2

環境に対する有害性：水生環境有害性（急性）：区分外
水生環境有害性（慢性）：区分4

上記で記載が無い危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：**警告**

危険性有害性情報：

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：眼刺激

特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）：長期ないし反復暴露による臓器(神経)の障害

水生環境有害性（慢性）：長期的影響により水生生物に有害のおそれ

注意書き：

【予防策】保護眼鏡／保護面を着用すること。

粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

環境への放出を避けること。

【対応】 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。

取り扱った後、手を洗うこと。

気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。

【廃棄】 内容物や容器を、都道府県の関係法規に従って、自社で適正に処理するか、又は許可を受けた専門の廃棄業者に委託して処理すること。

その他情報

健康への有害性：弱い眼の刺激や、皮膚への軽い刺激性がある。

目刺激性： 本製品が眼に入ると、眼が赤くなり沈痛をとまなう。本製品を吸い込むと、鼻、喉、その他呼吸器官に刺激を起こす。過度に接した際の症状は、咳、くしゃみ、咽頭炎、鼻詰まりが起こる。長期に渡って、フッ化マグネシウム(本製品の成分)を吸っていると、鼻中隔に穴が開く可能性がある。アルミニウムダストを慢性的に吸い込んでいると、肺組織が侵される(肺疾患)。

皮膚刺激性： 暴露している期間や濃度にもよるが皮膚へ接触すると軽い刺激がある。

環境影響： 本商品が大量に放出されない限り、環境に対し害は与えない。

物理的及び

化学的危険性：本製品は不燃であるが高温に接した場合、熱分解して刺激性のある煙や毒性ガスを発生する恐れがある（例えば、マグネシウム、フッ素、アルミニウム化合物）。アルミニウムダストは花火や炎により火が付いた場合、爆発を催す。

本製品の微粉末飛散は最小限に保つべきである。

3. 組成、成分情報

単一製品名

・混合物の区分： 混合物

化学名： フッ化マグネシウム層を持つアルミニウム混合物

本製品は、フッ化マグネシウムとアルミニウム の薄い膜をもつ微粉末である。 顔料中、総重量のおよそ 80-95%は、外側の層にあたるフッ化マグネシウムである。

成分	含有量 (W/W%)	官報公示整理番号		CAS No.
		化審法	安衛法	
アルミニウム	5-20	対象外物質	—	7429-90-5
フッ化マグネシウム	均衡	1-328	—	7783-40-6

4. 応急措置

吸入した場合： 製品のダスト又は蒸気を吸い込んだ時は、被害者を新鮮な空気のところへ移す。

皮膚に付着した場合： 皮膚が本製品で汚染されて刺激がある時は直ちに、水を流しながら汚染を取り除かねばならない。汚染箇所又は汚染した衣服を取り除き、眼が汚染されない様に気を付ける。水で洗浄しても良くならない場合は医師の診断を受ける。

目に入った場合： 製品のダスト又は蒸気が目に入った時は、静かに水をながしながら被害者の眼を洗う。洗眼は少なくとも 15 分間行う。被害者は医師の診断を受ける

飲み込んだ場合： 飲み込んだ時は、医師を呼ぶか、最新の情報を備えた毒物管理センターへ連絡する。専門の対応措置が選られない場合は、吐くのを強制してはならない。被害者は牛乳、卵白又は、多量の水を飲む様にする。意識がなく、痙攣を起こしたり飲み込めない被害者を強制的に吐かせ様としたり、稀釈剤(牛乳又は水)を与えてはならない。

被害者は特に初期の処置の後にも改善が見られない様であれば、医師の診断を受ける。被害者と一緒にラベル及び製品安全データシートを医療専門家のところへ持参する。

5. 火災時の措置

消火剤： 二酸化炭素、泡、粉末乾燥剤

火災時の

特定危険有害性： 火災が起きると熱分解して刺激性の煙や毒性ガスを発生する(例： マグネシウム、フッ素、アルミ化合物)。火花や火により点火した場合、

アルミニウムダスト塵が爆発する可能性がある。本商品に於いて特に重大な危険性はないが（フッ化マグネシウム膜とフレーク形状の為）本製品が空中に飛び散った状態を最小にすべきである。

消火を行う者の保護：初期の消火に対応する者は、眼を防護する装置を身に付ける。化学剤消火作業者は、自給式呼吸装置を着用し防護装置を身に付けなければならない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：ダストが少量の事故の場合は、清掃の際に手袋、ゴーグル、ダストマスク、身体を保護する装置を着用する。

環境に対する注意事項：漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。

二次災害の防止策：全ての発火原となるものを速やかに除くとともに消化剤を準備する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策： 本製品を取り扱う全作業者は、安全に取り扱う指導を受ける。換気装置が充分備えられた場所で使用する。容器を開ける際は平らな場所で静かに開ける。使用しない時は、容器は完全に密閉しておく。空容器には製品が残っている場合があるので充分注意する。

注意事項： 他の化学品同様、本製品を身体に付いたり身体の中に入らない様にする。製品のダストや蒸気を吸い込まない様にする。使用後は充分洗浄する。汚染した衣服は直ちに脱ぐ様にする。

保管

適切な保管条件：涼しい乾燥した場所に保管し、直射日光、高温の熱源から離れた場所に置く。不相溶性物質から隔離して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 適時換気装置を使用する。通常の或いは、その場所に対応した局所排気設備を備える。本製品を使用する場所の近くに洗眼・安全シャワーを設置する。

管理濃度：

許容濃度（暴露限界値）：

アルミニウム： ACGIH-TLV TWA 10mg/m³, OSHA-PEL TWA 15mg/m³

フッ化マグネシウム： ACGIH-TLV TWA 2.5mg/m³, OSHA-PEL TWA 2.5/m³

保護具

呼吸器の保護具： 通常の使用時には、ダストマスク又は微粒子用フィルターを着用する。

手の保護具： 業務用で常時使用タイプの合成又は、ゴム製手袋を使用する。

目の保護具： 防止用ゴーグル又は、安全眼鏡を着用する。

皮膚及び

身体の保護具： 作業用の身体保護装置を使用する

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態： 固体

形状： 鮮やかな金属粉

臭い： 無臭

pH： 該当しない

物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲

融点： 1263°C

沸点： 2260°C

蒸発速度： 該当しない（ブチルアセテート=1）

蒸気圧： 該当しない

比重： 3.0

溶解性： 不溶

10. 安定性及び反応性

安定性： 安定している。

アルミニウム粉塵は火花やら火により発火し爆発を起こす。これは本商品に於いて非常に危険な項目には該当しないが（フッ化マグネシウムの層により）、全ての作業環境を空気中の微粒子発生を最小限にするように保つことが必要である。

反応性： 本商品は強酸化剤、強酸とは相溶性がない。

避けるべき条件： 極端な高温、火源

危険有害

な分解成物： 極端な高温に接すると熱分解が起こり、刺激性のある煙と毒性ガスが発生する。（例えばマグネシウム、フッ素、アルミニウム化合物）。

11. 有害性情報

急性毒性：

アルミニウム： ラットに 100mg のアルミニウムを肺に注入すると約 1400ppm で血液や

骨のりん分が減少する。アルミニウム粉はウサギの目に微量の炎症をもたらす。

フツ化マグネシウム： LDLo (経口、Guniea Pig)=1g/kg

1 2. 環境影響情報

残留性／分解性： 本製品の金属成分は、周囲に恒久的に残存する。その他の成分は、環境の中で徐々に分解し様々な有機・無機物になる。

生態毒性： 特になし

1 3. 廃棄上の注意

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の対応規則に準じて行わなければならない。処理等を外部の廃棄業者に委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者にマニフェストを交付委託し、関係法令を遵守して適性に処理する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制： 該当しない
国連分類： 該当しない
国連番号： 該当しない
国内規制： 該当しない

輸送の特定の安全

対策及び条件： 運搬に関しては容器からの漏れの無いことを確認し、転倒・落下・破損の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

1 5. 適用法令

該当法令なし

1 6. その他の情報

参考文献： 1) ACGIH
2) OSHA
3) NIOSH
4) WHMIS
5) ANSI

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常
の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・
用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。